



落穂会だより

春季号 2014.4

社会福祉法人 落穂会
 障害児入所施設 障害者支援施設 地域生活支援センター 障害者支援施設 障害福祉サービス事業
 あさひが丘学園 あさひが丘 あさひが丘 旭福祉センター 第二旭福祉センター
 鹿児島市皆与志町2503番地 (Tel 238-4821) (Tel 238-4821) (Tel 243-1112) (Tel 244-3551) (Tel 244-3551)
<http://www.asahigaokagakuen.jp/> <http://www2.synapse.ne.jp/asahi-center/>

新入所者紹介

◆あさひが丘学園
 正木 彩花さん
 早ね早起きがんばって、友達と仲良くしたいです。

新通所者紹介

◆あさひが丘 通所部
 岩元 勇樹さん
 時間にこだわりがあり、食いしん坊です。よろしくお願ひします。

退所者

◆あさひが丘 通所部
 久木田 克也さん(旭福祉センターへ)
 旭福祉センター
 川野 一馬さん(サンヴィレッジ始良へ)
 山元 辰則さん(慈生園へ)

◆あさひが丘学園
 西 竜之介 支援員
 利用者の方々のより良い生活へ支援し、また一緒に楽しんでいきます。

◆あさひが丘
 南方 瑞穂 保育士
 みなさんといっぱい関わって共に日々成長していきたいと思ひます。

◆あさひが丘
 森 美穂 保育士
 常に笑顔で心がけ、何事にも積極的に行動するよう頑張りたいです。

◆あさひが丘
 石神 麻理 支援員
 笑顔忘れず、楽しみながら共に成長していきたいと思ひます。

◆あさひが丘
 米澤 穂高 支援員
 精一杯がんばりたいと思ひます。よろしくお願ひします。

◆あさひが丘
 松元 隆志 支援員
 未経験者ですが、元氣と笑顔と雑草魂で頑張ります。

◆あさひが丘
 追田 知史 支援員
 たくさんの笑顔が見られるよう、頑張りたいです。

◆あさひが丘
 田中 直樹 支援員
 一日も早く、利用者となれるよう努めます。

◆あさひが丘
 藤山 千春 支援員
 一日も早く仕事を覚えられるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

◆あさひが丘
 なるよう頑張ります。

◆地域生活支援センター
 追田 結美 支援員
 利用者の得意な所を伸ばし、苦手な所も挑戦できるよう支援していきたいです。

◆あさひが丘
 久保田 佳代子 支援員
 信頼関係を大事にし、生活の質の向上のための支援をしていきたいと思ひます。

◆あさひが丘
 中間 勇亮 支援員
 新しい環境に戸惑いながらも早く慣れたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

◆あさひが丘
 ガーデンキッズ トリア
 原田 誠子 保育士
 子どもさん達の将来へ繋がる支援を行えるよう研鑽に励みます。

◆あさひが丘
 芝野 巨樹 支援員
 仕事に責任をもって取り組む。体調管理をしっかりとし休まない。

◆旭福祉センター
 杉山 亜里沙 支援員
 多くのことを吸収し、早く一人前の職員になれるように努力します。

「カフェのどか」5周年



「カフェレストランのどか」「ペーカリー楓」は皆様のおかげで無事五周年を迎えることが出来ました。オープン当初の頃を振り返ると懐かしさも感じられます。

「のどか」では、接客という仕事を始めることになり一般のお客様と接する戸惑いや、料理を運ぶ初めての仕事に不安もありましたが、日頃から接客の練習をしたり、月末に個人評価をすることで個々のレベル向上を目指し色々な事に取り組み頑張ってきました。この努力の積み重ねがお客様に届いたのが、常連客も増え、ホールで働く利用者の方が笑顔で会話をしている様子も多く見られ、とても良い雰囲気です。

「ペーカリー楓」では、なかなか商品をお店に出す事が出来ず試行錯誤の毎日でしたが、商品の数も増え新商品も定期的に出せるようになってきました。お客様の笑顔を見たい思いで、行事ごとにお店の飾り付けをしたり、季節に合わせたパンを皆で考え試作を何度も繰り返す等して頑張ってきました。また、朝礼時に全員で挨拶の練習をする事で、接客に対する向上心も芽生えてきました。

皆様を支えられ五周年を迎える今、「カフェのどか」「ペーカリー楓」これからも初心を忘れず楽しい雰囲気のお店作りを目指し、利用者・職員一同、精一杯頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



編集後記

落穂会だより春号の発行が遅れてしまい、皆様に迷惑をおかけしました。あわただしい中での春号の発行となりましたが、忙しいときこそ心を落ち着かせ一つひとつ確実に仕事をすすめていきたいと思います。

今年度も皆様の協力をいただきながら、楽しい落穂会だよりを目指します。よろしくお願ひします。(U)

カフェのどかオススメ!



今回はランチメニューの中から「プレートランチ」のご紹介!メインには国産鶏肉のチリソースとスパイスパン・デザートをのせて、ゆっくり会話をしながら楽しむ!女性も喜びのプレートランチ!ちよびり贅沢なランチに注目!

スープ・メイン・パン・デザート
ドリンク付き ¥1000

◆ 行事報告 ◆

○1月10日(金) 新成人を祝う会
あさひが丘学園、グループホームあさひが丘から、県知的障害者福祉協会主催の新成人を祝う会に利用者11名、保護者10名、職員5名が参加、新成人を祝いました。

○1月15日(水) 新年会バイキング誕生日会
あさひが丘学園では、利用者89名、職員41名が新年会バイキング誕生日会に参加しました。2組のグループにわかれ、食事を楽しみました。

○1月18日(土) 日中活動参観2回目・保護者懇親会(あさひが丘・地域生活支援センター)
あさひが丘では、33家族36人の保護者が来園、一緒に日中活動へ取り組みました。活動後は、茶話会を実施して意見交換を行いました。ワークショップあすもねでは、5名の保護者が来園、室内作業の様子を見学してもらいました。また、屋外作業の様子を動画や写真で紹介しました。

○1月22日(水) 第2回 テーマ別研修「障害者の権利擁護について」
あさひが丘学園では、「障害者の権利擁護について」というテーマで、弁護士法人 かがしま 上山法律事務所 所長 弁護士 上山幸正氏に講演してもらいました。51名の職員が参加、専門職として権利擁護などの制度について知識を深めました。

○1月25日(土) 歩路・セルク保護者職員懇談会
児童発達支援事業(歩路・セルク)の保護者職員懇談会が行われました。保護者(歩路9名・セルク5名)と職員(歩路10名・セルク4名)が参加、リラックスした雰囲気の中で、普段の子ども達の様子など情報交換を行うことができました。

○1月26日(日) 新年会
旭福祉センターの新年会がサンロイヤルホテルで行われました。利用者85名、保護者37名、職員25名、計147名が参加し、食事や抽選会などを楽しみながら新年の抱負などを語りました。

○1月28日(火) 不審者対応訓練
あさひが丘学園で、鹿児島西警察署職員の立会いのもと不審者対応訓練を実施しました。利用者83名、職員24名が訓練に参加、不審者対応、通報・避難・誘導訓練を行いました。今後活かしていきたいと思ひます。

○2月1日(土)~4日(火) ナイスハートバザールin鹿児島
旭福祉センターでは、山形屋で行われたナイスハートバザールに参加し、花苗や菓子・陶芸品を販売しました。会場には大勢のお客様が来場され、利用者みなさんが一生懸命作った商品を手に取り買って行かれました。販売に参加した利用者の方も笑顔でお客様の対応をしていました。

○2月9日(日) 大正琴おさらい会
旭福祉センターでは、山形屋文化ホールで行われた

大正琴おさらい会に利用者15名、職員4名で参加しました。今回は30曲以上あるレパートリーの中から「バラが咲いた」と「手のひらを太陽に」を演奏し、日頃の練習の成果を十分に発揮できた演奏会でした。

○2月11日(火) ボランティア余暇支援「バレンタインチョコ作り」
あさひが丘学園に、鹿児島国際大学ボランティアグループ「そよかぜ」のメンバー5名が来園しました。バレンタイン直前ということで女性利用者15名とチョコレート作りを楽しみました。

○2月13日(木) 歩路・セルク合同保護者会
児童発達支援事業(歩路・セルク)の合同保護者会が行われました。保護者(歩路12名・セルク5名)が参加、療育についての勉強会やグループに分かれての茶話会が行われ、自宅での様子など情報交換などが活発に行われました。

○3月6日(木) 吉田南中学校 職場体験
あさひが丘、地域生活支援センターで、吉田南中学校生徒8名が職場体験を2日間行いました。あさひが丘では、日中活動に3名が参加、建築資材の製作、創作活動と一緒に行いました。地域生活支援センターでは、ワークショップあすもね2名、児童発達支援「歩路」3名が参加、菓子箱制作や療育などに参加しました。

○3月10日(月) 鶴丸高等学校体験「医療福祉施設訪問学習」
あさひが丘学園、地域生活支援センターで、鹿児島県立鶴丸高等学校「医療福祉施設訪問学習」が行われました。33名(男子7名、女子26名)が、利用者との交流を深めました。

○3月16日(日) グループホーム新年会
グループホームあさひが丘の新年会をスパランドら・ら・らにて、行いました。利用者25名、職員21名が参加、会食やカラオケ、抽選会も計画され楽しい時間を過ごしました。

○3月20日(木) あさひが丘学園 総合防災訓練
あさひが丘学園にて、日中想定総合防災訓練を行いました。伊敷分遣隊から消防隊員3名が立会い、避難訓練を行いました。訓練後に、利用者職員へ避難時の注意事項などの訓話がありました。避難訓練後には、新任職員の消火訓練も行いました。

○3月21日(金) 1日旅行
旭福祉センターでは、利用者87名、職員20名で霧島方面に出掛けました。まぼろばの里での絵付け体験では、湯呑に思い思いに絵を描き、完成する1ヶ月後が待ち遠しいです。また、高千穂牧場では羊に餌を与えたり、アイスクリームをほおぼる姿が見られました。天候にも恵まれ、利用者の皆さんの笑顔もキラキラ輝く良い旅行日和でした。

平成二十六年 運 営 方 針

◆あさひが丘学園 ◆障害者支援施設あさひが丘 ◆地域生活支援センターあさひが丘 ◆ガーデンキッズ

統括施設長 水 流 純 大

あさひが丘関係施設における今年度の重点目標は以下のとおりである。

一、組織間連携の充実を図る

チーム内、チーム間、部門間、事業所間の情報共有システムの構築とチーム会議の内容にばらつきがないよう協議事項の統一化を図る。また、全職員が年一回以上、他部門での体験研修を行うことや、仕事以外の交流の機会をつくるなどして意識の共有化を図り、組織としての一体感を醸成する。

二、人材育成の充実を図る

職員の自発的な研修・見学の希望の把握とそれに基づく研修計画の策定、新人職員が業務内外のいろいろな相談を気軽に行える体制作り、園内研修において職員の実践報告の場を設ける、質の高い人材を採用するために学生向けパンフレットを作成

するなどして、採用活動の強化を図る等を行う。

三、リスクマネジメントへの取り組みを強化する

日々の業務における事故防止への職員の意識を高め、今年度は特に服薬に関する事故を起こさないようにする取り組みを強化するとともに、トータルなリスクマネジメントシステム作りに取り掛かる。また、万一の災害に備えて、飲料水、食糧、寝具等の備蓄品を計画的に準備する。

四、地域社会に向けての取り組みの充実を図る

児童発達支援センターにおける未就学児の療育体験、保健センターや近隣の幼稚園・保育園と連携して発達障害や子育てに関する相談会の実施、地域イベントの開催や施設開放、清掃活動等の地域貢献活動を積極的に行う。また、学園の運営や活動を理解し、協力していただけるような地域の協力者を増やし、学園と地域社会とのつながりを太くするように努める。

五、新事業の円滑な運営と新たな事

業展開のための施設整備を行う
児童発達支援事業所ガーデンキッズトリア及び新たなグループホーム(とんぼ丸)の着実な運営を行う。また、平成二十七年九月開始をめざし、乗馬療法の計画的な準備を行う。教育棟の一部改築を行い、「ギャラリあさひが丘」(仮称)を設置する。

◆旭福祉センター ◆第二旭福祉センター

第二旭福祉センター施設長 水 流 健 一

障害者総合支援法は施行後三年(平成二十八年度)を目途に見直し検討の議論が始まる新たなステージに入る。この三年後の検討課題には「障害者の就労の支援のあり方」も上げられており、その検討状況を見ながら今年度は下記の重点目標を掲げる。

①利用者のニーズに合わせた支援の提供

利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った短期目標・長期目標を支援計画に掲げ、利用者支援の向上を図る。

②家族との連携強化

年三回の家族代表者委員会、毎年八月の家族総会、一月の新年会など家族との連携強化の早期の計画立案

と実施を目指す。また、新法の動向について家族との情報交換を行う。

③職員の育成システムを確立する

職員行動チェックリストを活用し、職員の資質向上に努める。特に今年度は現状の職員育成の更なる向上を目的とした育成システム改善委員会を立ち上げる。

④新人事制度の適切な運用

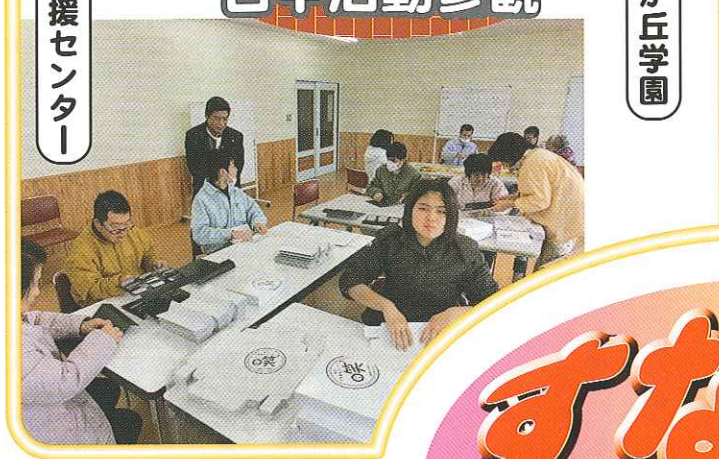
二十六年より導入する新たな人事考課制度を軌道に乗せる。目標管理シートによる明確な目標設定を各個人と幹部職員が共有し、施設方針に沿った人材の育成を目的とし適切な処遇評価を行う。

⑤地域密着型の施設サービス推進

地域に密着した施設を目指し、積極的に地域行事や地域活動に参加する。特に近隣の地域福祉組織との連携を密に行い、地域福祉の増進に寄与する。また、ベーカーリー・カフェ NODOKAという拠点を活かし、地域との交流を深める。

⑥各種作業部門 製販計画の達成

今年度は更なる効率化と役割分担の明確化を促進し、各作業班で設定した製販計画の達成を目指す。特に今年度は昨年度に引き続き、対象となる職員に対しコスト意識の向上を目的とした研修も実施する。



すなっふスナツプ

